

北九港&空 NEWS

第3号

発行 国土交通省 九州地方整備局
北九州港湾・空港整備事務所
801-0841 北九州市門司区西海岸 1-4-40
Tel : 093-321-4632 Fax : 093-322-1007

“海をきれいに ~ 藍島小学校” “洞海湾の歴史 ~ わかちく資料館”

海の日 表彰

今年度も海の日を記念して、港湾行政等における功労者が表彰されました。

表彰は国土交通大臣表彰の外、海上保安庁、九州運輸局等とともに九州地方整備局長表彰があり、個人56名、団体3組の受賞者をお迎えして、7月15日門司港ホテルにて授賞式が行われました。

以下に、九州地方整備局長表彰の受賞者を紹介します。



受賞者の方々

これまでの長年の活動とこれからの響灘の環境保全活動の推進を目指す子供たちの取り組みを称えて、今回の表彰となりました。

授賞式には参加できませんでしたので、後日、藍島小学校を訪れ、表彰状を子供たちに手渡しました。これからも島の、そして日本の海を守っていくことを誓ってくれました。



清掃状況（藍島小HPより）

わかちく資料館

「わかちく資料館」は若松区の若戸大橋橋脚近くにあります。北九州港特に洞海湾開発の歴史を紹介する資料が展示されています。

元々筑豊炭田の積出し港として始まった洞海湾の近代港湾開発の歴史は、民間の築港会社の働きにより動きだしました。今では想像できないでしょうが、洞海湾には砂浜が広がり、干潟を利用して塩も作られていたそうです。

平成9年に開館した資料館は官営八幡製鉄所、その他工場等の立地による北九州工業地帯の形成に大きく寄与した洞海湾の開発・変遷を写真と資料により紹介しています。また、昨年の新若戸道路開通時にも地域に展示会の開催など協力頂きました。

このように北九州港の歴史、港湾の役割などを市民の方々に紹介し、港湾の振興発展に寄与されていることから受賞されました。

市民に親しまれ、適宜催しも開催されていますので、洞海湾の歴史を探ってみてはいかがでしょうか。入館料は無料です。

（休館日は月曜日、祝祭日、年末年始）

藍島小学校

藍島小学校のある藍島は小倉の北西にあり、面積約0.7km²、人口約300人の漁業を中心とした離島です。生徒数18名の小さな学校ですが、環境教育に力を入れており、島の資源を守るための海岸清掃、周辺海域に生息するスナメリの生息調査など環境保全活動が積極的に行われています。



藍島小学校代表者への授与

“良質な社会資本整備に貢献”

優良施工業者等事務所長表彰

高品質な港湾施設整備を実施した施工業者及び優良技術者等、良質な社会資本整備への貢献を記して事務所長表彰を行いました。

以上の方々を受賞されました。

今後とも優れた技術力を発揮し、北九州港の整備への貢献をお願いします。

優良施工業者（工事部門）

東亜建設工業(株)九州支店

工事名：北九州港（響灘東地区）

臨港道路（南地区）道路工事

優良施工業者（業務部門）

沿岸技術研究センター・日建設計

シビル設計共同体

業務名：新門司沖土砂処分場（3

工区）技術検討調査

優秀技術者

（財）沿岸技術研究センター

山本 修司

優良専門業者（潜水部門）

児玉建設株式会社

工事名：北九州港（新門司地区）

岸壁（-7.5m）（改良・耐震）工事



表彰式の様子

“夏の海辺イベント”の開催 そして、新たな歴史的空間のお披露目 “旧大連航路上屋”

関門港ポート天国

7月14日、約1万3千人という来場者を迎えて、平成25年度関門港ポート天国が開催されました。

スイム&ランで汗を流す人、巡視船の一般公開やクルーザーの体験乗船等で海を実感する方々、そして心肺蘇生法実技教室、お天気教室など、多岐にわたる体験ができる、そして将来の北九州を担う子供たちにとっても楽しい1日となったと思います。

当事務所でもパネル展を実施し、北九州の港・海に関わるアレコレを紹介しました。



海峡に大輪の花

恒例の関門海峡花火大会が関門海峡をまたぎ、北九州、下関両岸で大輪の花を咲かせました(8月13日)。

門司側からは当事務所前の海岸から打ち上げられ、真上に大きな花が広がるとともに、数百m離れた下関側の花火は海峡の水面にも写るたくさんの花を觀賞できました。飛鳥・にっぽん丸等の乗船客を含む多くの方々の夏の思い出ができました。

ちなみに、最近夕方になると当事務所の対面側下関港あるかपोर्टで花火(観覧車点灯)が見られます。



旧大連航路上屋

1929年(昭和4年)、アールデコ様式で建築された戦前の中国大連とを結ぶ国際航路ターミナルであった旧大連航路上屋がリニューアルされ、7月19日、新たな文化・観光拠点として生まれ変わりました。

エントランスホールには往年の客船の模型などが展示され、各種イベントが開催できる多目的スペースなど、観光客・市民とも楽しめる施設です。

開館当日寄港した客船飛鳥からも汽笛でお祝いを頂き、レトロ地区にまたひとつ楽しめる場所が増えました。



「空の日」イベントで、子供たちがパイロットに!? “北九州空港まつり”

「空の日」を記念して、恒例となった「北九州空港まつり」が9月30日開催されました。

この日は通常時は見学できない空港内の小型航空機・消防車の見学もできるとあって多くの親子連れの参加で賑わい、実物大機内模型の見学やフライトシミュレーションゲーム体験など、将来のパイロット、CAを夢見た子供たちで順番待ちの大人気となっていました。その他、北九州空港整備に関する資料展示や建設機械の操作体験も実

施され、広く空港の役割、魅力の発信に寄与できたと思われま

ちなみに、現北九州空港は平成8年から北九州港や関門航路で発生する浚渫土砂などを有効活用しながら整備が進められ、平成18年首根にあった旧空港から機能を移したもので、海上という立地を活かした24時間供用空港として早朝・深夜も就航しています。

現在、韓国釜山への定期便も就航し

ており、この夏にはグアムへのチャーター便が運航されるなど国際化を含めた路線拡充を進めています。

また、この春には国際定期貨物便も就航し、旅客のみならず九州の貨物ターミナルとしても発展が期待されます。

当事務所では、更なる空港の利便性、安全性を確保するために、新たなエプロン(駐機場)の整備や台風時の越波を防ぐための外周護岸の高上げ工事を進めています。



『編集後記』

7月の海の旬間から9月末の空の旬間にかけて、海・空に関する様々なイベントが開催され、多くの市民の方々の関心が寄せられました。

関係者スタッフの皆さんのご尽力に敬意を表します。

「北九港&空 NEWS 第3号」を発刊しましたので配布させていただきます。